

書になっているので、あるいは米に関わる帳簿かもしれない。米の支給を受けた者とは、(5)の「火」から示唆されるように、平城宮造営に携わった役丁が多くを占めていたことであろう。このことは、荷札木簡の考察からも導かれることである。

このように本木簡群は、遺構の状況とも合致するように、平城宮造営に関わるものが大部分を占めており、ここに最大の特徴がある。削屑の量も少なく、木簡を使用した業務活動を窺わせてくれる。ただし狭義の文書木簡は現状ではみいだせず、造営担当官司内にとどまる木簡利用となっている点には注意しておきたい。

9 関係文献

奈良国立文化財研究所『昭和四九年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』(一九七五年)

同『奈良国立文化財研究所年報一九七五』(一九七六年)

同『平城宮発掘調査出土木簡概報』一〇(一九七五年)

(市 大樹)

『木簡研究』在庫状況のお知らせ

頒価

一〇四号	品切れ	五・六号	三五〇〇円		
七一二号		三八〇〇円	一三号	四三〇〇円	
一四・一五号		四五〇〇円	一六・二三号	五五〇〇円	
送料					
一冊	六〇〇円	二冊	八〇〇円	三冊	一〇〇〇円
四冊	一二〇〇円	五・一〇冊	一五〇〇円		
一一・二〇冊	二〇〇〇円				

※個人購入の場合は代金前納です。代金と送料は郵便振替で〇一〇〇〇一六一五二七 木簡学会までお送り下さい。

※大学・博物館など公的機関の場合は代金後納です。銀行振込か右の郵便振替でお願いします。

口座番号 みずほ銀行西大寺出張所

普通預金 一一一〇三一五

口座名 木簡学会 佐藤宗諄(さとう そうじゅん)

連絡先 千六三〇―八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所

平城宮跡発掘調査部史料調査室気付

木簡学会

電話 〇七四二―三〇一六八三七